
救世主は1人だけ†ナギEND†

薬剤師

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

救世主は1人だけ†ナギEND†

【Nコード】

N7761H

【作者名】

薬剤師

【あらすじ】

ナギが行方不明になる前、ナギはフェイトと散歩と言って外に出た。2人は立場上敵対しているが、本当は互いに《友情》に似たものを感じていた…これはそんな2人の最後の思い出となる話。【ネギま!】救世主は1人だけ〜フェイトEND〜の対となる、もう1つの話し――

凍てつくような真冬の夜のこと。はたから見れば大層な美男子が2人、暗い街道を歩いていた。

赤毛の青年はナギ・スプリング・フィールド。
白髪 of 青年はフェイト・アーウェルンクスという

「公園つて…意外と遠いな」

ナギが愚痴を言うように呟く。

どうやら2人は公園を一応の目的地として、散歩をしているらしい

「《扉》を使うかい？」

「なあ…一緒に飛ばないか？」

「浮遊術と虚空瞬動で？」

「いや、杖で

『メア・ウィルガ（杖よ）』」

もはや目的の《散歩》でなくなるような話をしているが…2人は特に疑問には思っていない

「僕はあまり気がのらないな…」

「ん？…そうか。ならいいけどよ」
「歩こうか」

そしてしばらく歩いて、ひとけのない細い道に入ったとたん、突然
フェイトが倒れた

「うぐ……くっ……」

フェイトは胸を押さえ、その場につづくまる。
その胸部はほとんど原形を留めておらず、血が湧き出るように流れ
出てきた

「君……？……どうして？」
「ごめんな……フェイト」

ナギは泣く寸前のような笑うような顔でいった。

「ホント……ごめんな」

すると、フェイトは力なく……ほんの僅かに口の端を上げて……

微笑んだ

それを見てナギは戸惑う

「フ…フフフ…」

フェイトは笑った

「まさか僕の…ほうが…殺られるなんて…」
「なんで笑っていられるんだよ…!!」

泣きだしたのは、ナギだった

「だって…ぐっ!!…うッ…」

苦しそうにフェイトがうめく。それを見たナギの顔が瞬時に青くな
った

「…があッ!!…まあ、君なら…僕よりも遥かに上手く…救える…
かもね…」

フェイトは、ガクガクと震えている、もう使い物にならないであろ
う自らの左手を静かに見つめた

「それに僕は…やはり…君には敵わないみたいだ…」

ナギはフェイトがこれから、何をしようとしてるのか悟った

「やつ…やめろ…!!」

だが、もう遅かった

『…アイオーニオン・ペトロシス……
(永久石化)』

フェイトの指輪が、紅く、美しく光り輝く

「フェイトッ!!」

紅い光りが強すぎて、辺りがよく見えなくなる。
そんな中でナギは、かすかに声を聞いた…

『君とはまた…会えるかもね』

——え？——

『いや、また会いたいな。…千の呪文の男』

指輪の光りが消えたときそこにあっただのは

整った顔に薄い笑みを浮かべた

血の中にある青年の石像

そして呆然とそれを眺める

赤毛の青年の姿だった

くエピソードく

殺したいわけじゃなかった…むしろ殺したくなかった

でもこうなることはわかってた。俺とお前じゃやり方が…意見が…
全てが違う

それでもたった一つだけ…目的だけは同じだったのにな

お前が成し遂げられなかった目的は、俺が違うやり方で成功させる

俺は必ず…お前の為にも――

「世界を…救ってやる…」

（後書き）

ここまで読んでいただき、本当にありがとうございますっ！！フェイトENDを読んでいないかたは、そちらも読んでいただけたら幸いです。（まあ、視点が違う、似たような話なのですが）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7761h/>

救世主は1人だけ†ナギEND†

2010年10月9日19時48分発行